

高専生による「小・中学生向け理科教育支援」～高専サイエンス支援ネットを利用したアイデア募集と実施～

被災地の子どもを元気に!

被災地の子どもたちのために、
実験講座を開催

昨年11月、熊本高等専門学校の生徒らが中心となり、益城中央小学校（熊本県益城町）にて「おもしろサイエンスわくわく実験講座」としてイベントを行った。益城町は、昨年4月に発生した熊本地震で被災。益城中央小学校も避難所として使われた。そこで被災した子どもたちのために実験講座を行うことになったのだ。

熊本高専では、これまでも小・中学校の科学技術教育支援を行ってきており、今回のイベントは熊本高専のほか、九州・沖縄地区の高専からなる「高専サイエンス支援ネット」の生徒ら130人が担当した。各校からアイデアを出し合い、20以上の科学実験ブースを企画。さらに、舞台ショーを行うなどして、誰でも楽しめるように工夫した。その結果、会場には268人が参加し大いに賑わった。



他高専も連携したおもしろサイエンスわくわく実験講座in益城町



独立行政法人 国立高等専門学校機構

熊本高等専門学校



●実施担当

上土井幸喜 教授

●活動のモットー

“子どもたちに、工作や実験の楽しさ・面白さを伝えたい!”という思いで活動している。また、講座の実施は、企画・運営する生徒自身にとっても大きな教育的効果をもたらす。

専門分野の知識と技術を有し、技術者としての人間力を備えた、国際的にも通用する人材の育成を行う。

学校概要

設立：2009年
生徒数：本科1,268人、専攻科122人
所在地：熊本県合志市須屋2659-2(熊本キャンパス)
熊本県八代市平山新町2627(八代キャンパス)



出前授業やイベントを生徒が企画して実施、生徒の成長にも

熊本高専では、これまでも「高専サイエンス支援ネット」として小学校や中学校での出前授業や、夏休みに子どもたちへの工作などの指導をしてきた。出前授業は年間30回以上にも及ぶ。「理科では『みて、さわって、やってみる』ことが重要。どうすれば子どもたちが理解しやすいのか、自分たちが小さいときはどうだったのかを振り返りながら、下調べをしたり授業のシミュレーションをしたりしています」と熊本高専の上土井教授は話す。

子ども向けの大きな科学イベントは、8月と11月、1月に地元自治体と連携して行っている。出前授業もイベントも、教師がアドバイスをするが、アイデア出しから製作まで生徒たちが中心に行う。「リーダーの生徒は責任もかかる。生徒自身の成長にもつながっている」と上土井教授は話している。

(平成28年度プログラム助成)

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創業者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索